

## 「アンテナの研究」レポート 「SONY AN-1 VS RF Systems T2FD」

「これからやりたいこと」の1番目に挙げていた「アンテナの研究」について、早速着手したのでレポートする。2月24日にRF SystemsのT2FDを購入し、翌日に設置した。設置したとはいってもまだきちんとしたマストも立てておらず、エレメント部分の一部は屋根の上に乗かってしまっており、アンテナの一端の高さも1m(もう片側は10m)という状態であり極めて不完全な状態である。まあとりあえず聞いてみよう、アンテナチェンジャーにAN-1とともに接続しいろいろの放送を聞き比べてみた。その結果は・・・さすがにT2FD。さすがにRF Systems。さすがに3万円!その差は歴然である。T2FDで聞いてみると、全体が非常に静かに感じる。SメータもAN-1の方がはるかに良く振れる。ところが実際にいろいろなDX局を聞き比べてみるとT2FDの方が断然聞きやすいのである。AN-1はアンプによって信号を大幅に増幅する分、目的の信号以外のものも大幅に増幅してしまう。したがってSメータは確かに勢い良く振れているが、その成分にはノイズもビート音も多分に含まれている。だから実際に聞いてみると結構聞きにくい。これに比べてT2FDは信号は若干弱く感じられるが、余分なものが混じっていないので非常に了解度が高いのである。結果としてT2FDでしか聞こえていないDX局が結構ある。注意深く聞くとAN-1でも取れているのだが、ノイズや混変調に邪魔されて気が付かないのである(T2FDばかり誉めてしまったが、言い方を替えればAN-1はあのコンパクトさである価格で結構健闘しているという見方もできるであろう)。

BCLを復活したときノイズのひどさと感度の低さでDX局がほとんど聞こえず、環境の変化を嘆いたものだったが、やっと原因の一つが明らかになり(ノイズはTAが原因)勘が戻ってきた。とにかくこのT2FDを早くきちんと設置し、100%のパフォーマンスを発揮させてみよう。

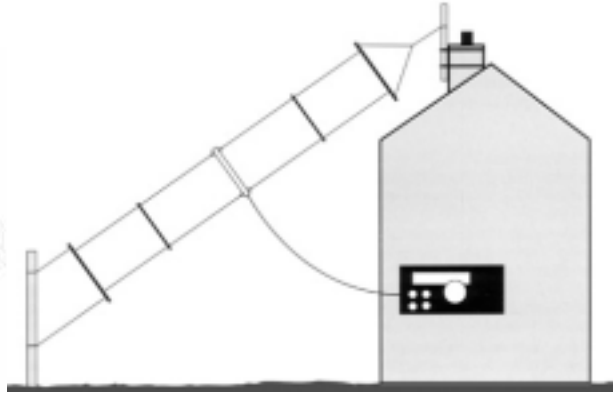
### AN-1とT2FDの比較表

Frequency	Station	AN-1	T2FD
3205	R.Sandaun	×(混変調、ゴースト)	34443
3235	R.West New Britain	22432(ゴースト)	24442
3905	R.New Ireland	34433	34443
4753.4	RRI-Makassar	33343(ゴースト)	44444
5020	La Voix du Sahel	32442(ゴースト)	35443
5985	RTV Congolaise	35443	35443

[ AN-1 ]



[ T2FD ]



(0128)